

2026年12月期 第3四半期 決算説明資料

Q3累計期間として過去最高業績を達成
CFD収益・金融収益が牽引し、店頭FXもQ3に復調

2026年10月30日
GMOフィナンシャルホールディングス株式会社

GMOインターネットグループにおける不正アクセス事案について

当社と同じ企業グループに属する、GMOインターネット株式会社（証券コード：4784）において発生した「お名前.com デスクトップクラウド」への不正アクセス事案により、ご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

- **当社連結子会社の取引システムへの影響について**

取引システムは、GMOインターネット株式会社が提供する仮想専用サーバー「お名前.com デスクトップクラウド」とは独立した環境で構築・運用しております。2026年10月30日現在、本事案による取引システムへの直接的な影響及びお客様口座における不正な操作は確認されております。

- **足元のお客様の動向について**

本事案に関連して、同サーバー上でFX自動売買ツール等を使用していた利用者に不正取引の被害が生じたことを受け、こうした不正取引が確認されていないGMOクリック証券、GMO外貨、GMOコインにおいても、通常時と比較して口座解約数及び出金が増加しているほか、新規口座開設数が減少する動きが見られております。

- **第4四半期以降の当社連結業績への影響について**

預り資産や取引高の動向が収益に及ぼす影響について、引き続き注視してまいります。2026年10月末時点の口座数や預り資産残高等については、11月初旬に開示予定の「2026年10月の月次開示情報（速報）」に関するお知らせにてお知らせいたします。

アジェンダ

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 Appendix

エグゼクティブ・サマリー

- 営業収益445.0億円、営業利益160.6億円となり、Q3累計期間で過去最高業績を達成
- CFD収益・金融収益が引き続き高水準、店頭FXはQ3単体で収益性が大幅改善

FY26 Q3 ハイライト

- **証券・FX事業**

店頭FX：Q3は外国為替市場のボラティリティ上昇等を背景に収益性が大幅に改善し、累計の減収幅は縮小

CFD：Q3は上期の水準からは減収も、前年同期比で大幅増収となり全体業績を牽引

金融収益：金利上昇による預託金運用収益の伸長に加えて、信用取引収益も引き続き堅調に推移、収益全体の下支えに

- **暗号資産事業**

低調な市場環境を受けて前年同期比で減収減益、国内売買代金シェアは上昇傾向で推移

- **株主還元の強化**（配当性向65%以上+DOE10%の下限指標を導入）

配当性向65%に基づく配当額がDOE10%の下限を上回ったことを踏まえ、配当予想を上方修正
Q3'26の1株当たり配当金は20.23円に（2026年7月公表予想比：四半期5.78円、年11.56円の上方修正）

Q3'26（1-9月） | 決算サマリー（前年同期比）

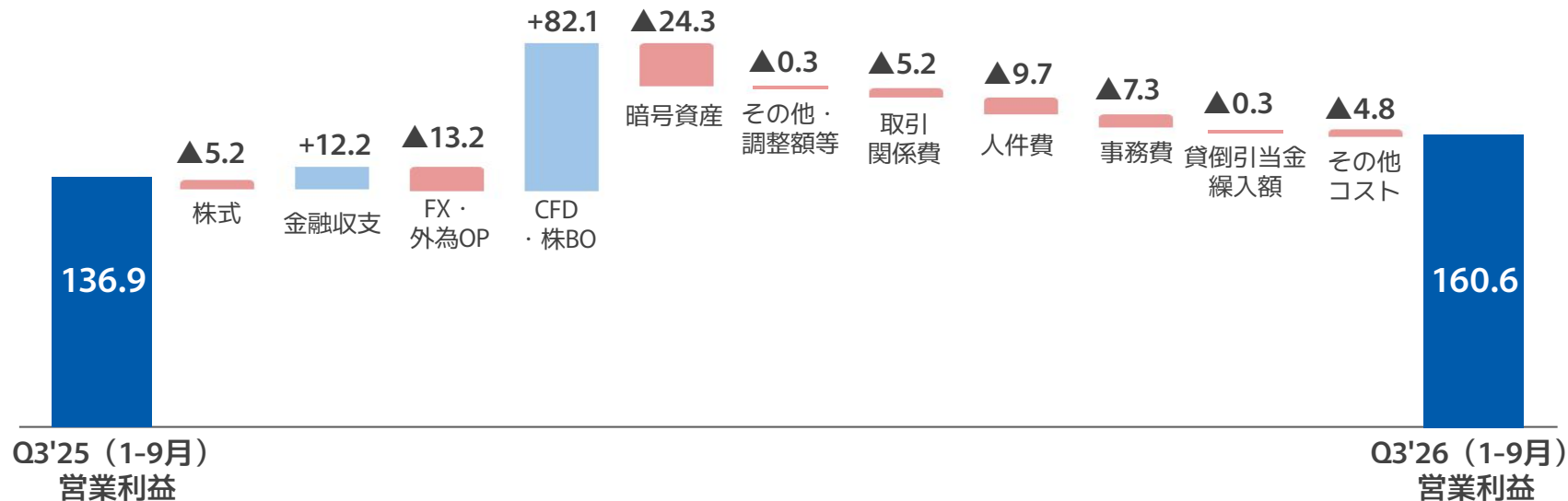
CFD収益と金融収益が好調に推移し、Q3累計期間で過去最高業績を達成

(百万円)	Q3'25 (1-9月)	Q3'26 (1-9月)	Y/Y	
			増減額	増減率
営業収益	38,413	44,507	+6,094	+15.9%
純営業収益	35,546	40,677	+5,131	+14.4%
営業利益	13,691	16,065	+2,374	+17.3%
(営業利益率)	35.6%	36.1%	—	+0.5pt
経常利益	12,855	15,990	+3,135	+24.4%
最終利益	8,910	10,531	+1,620	+18.2%

Q3'26（1-9月） | 営業利益増減（前年同期比）

好調なCFD収益が暗号資産の減収やコスト増をカバーし、増益で着地
金融収益も引き続き伸長、店頭FXは減収幅が縮小

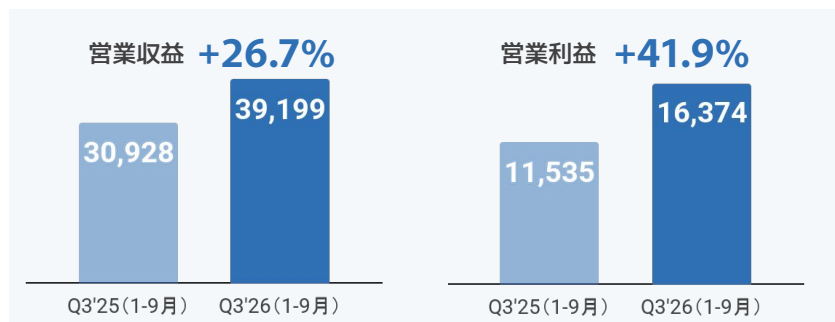
（億円）



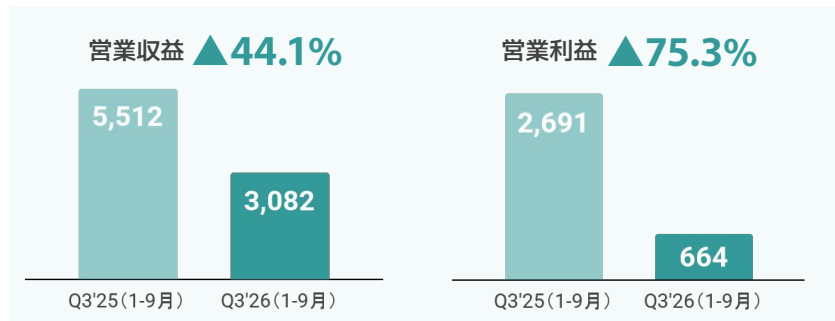
※表示単位未満を切り捨てています。

Q3'26（1-9月） | セグメント別の状況（前年同期比）

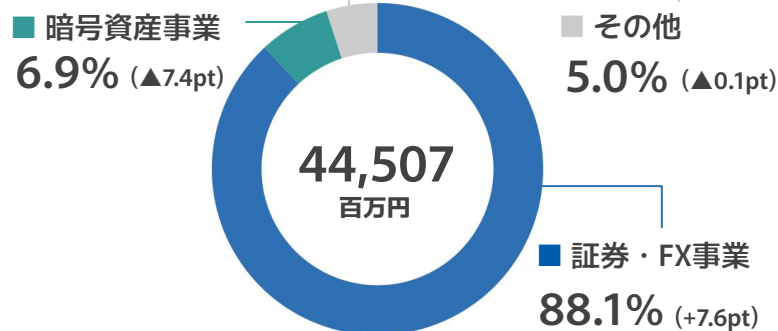
■ 証券・FX事業（単位：百万円）



■ 暗号資産事業（単位：百万円）

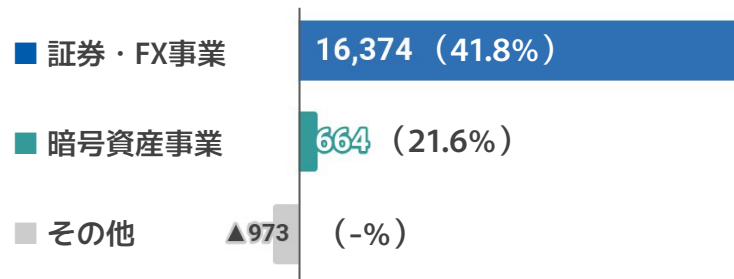


営業収益の構成比率



※構成比は表示単位未満を四捨五入しています。

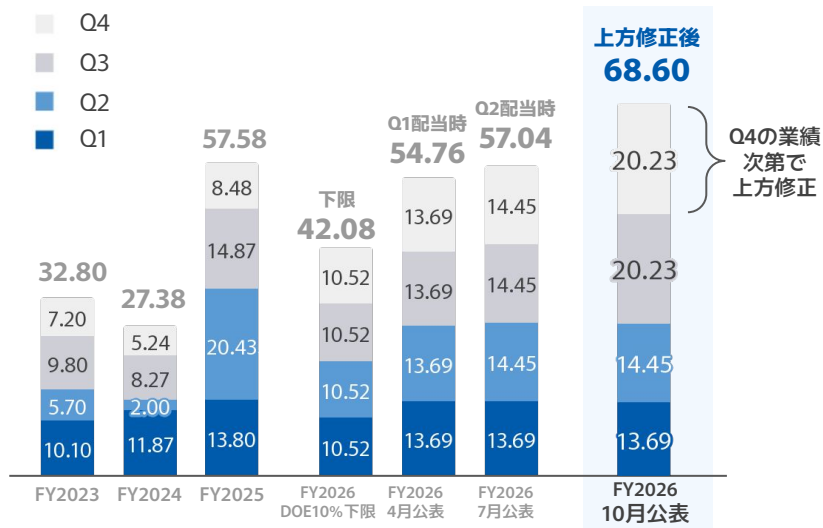
営業利益（営業利益率）（単位：百万円）



株主還元 | 配当

配当予想を上方修正し、Q3'26の1株当たり配当金は20.23円に
年間配当予想は68.60円となり、過去最高の前期実績（57.58円）を上回る水準へ

1株当たり配当金の推移と配当予想（円）



※ 配当下限額42.08円は、前期末の連結株主資本に対して10%を乗じた金額を元に算出しています。

2026年12月期の配当方針

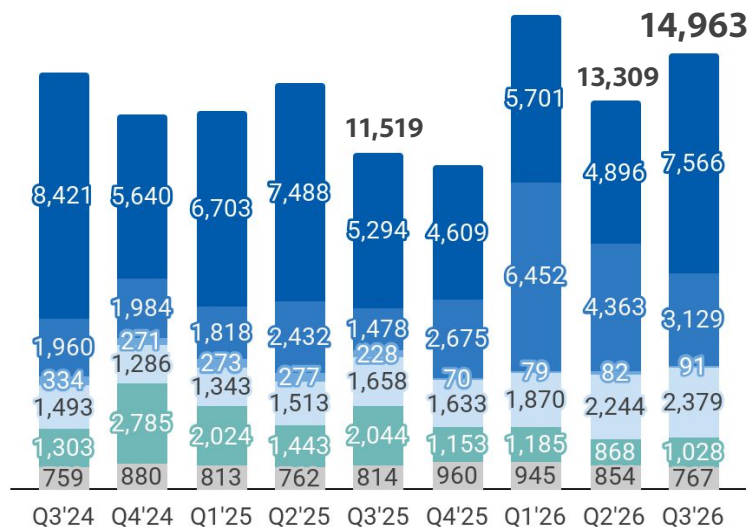
下限指標DOE10%を導入し、1株当たり配当金の下限を
年42.08円として親会社株主に帰属する当期純利益に対する
配当性向65%以上とし、四半期ごとに配当

Q3'26実績に基づく配当性向65%相当額がDOE下限を11.56円
上回ったため、当該上振れ分をQ3Q4に5.78円ずつ均等配分

	実績		確定	予想	
	Q1	Q2	Q3	Q4	合計
FY2026					
DOE10%下限	10.52	10.52	10.52	10.52	42.08
4月公表	13.69	13.69	13.69	13.69	54.76
7月公表	—	14.45	14.45	14.45	57.04
10月公表	—	—	20.23	20.23	68.60
(DOE10%下限比)	+3.17	+3.93	+9.71	+9.71	+26.52

四半期業績推移 | 営業収益（セグメント別/商品別）

（百万円）



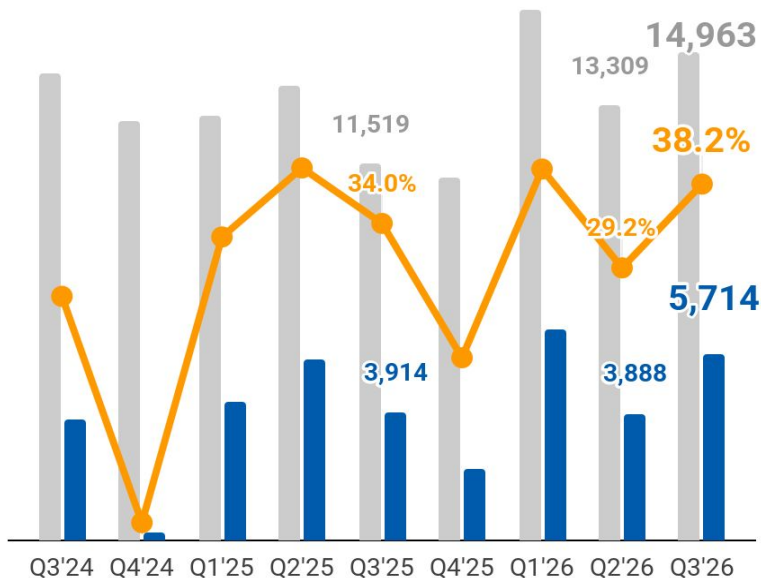
CFD収益・金融収益が高水準を維持
ボラティリティ上昇に伴いFX収益も改善

	Q3'25 (1-9月)	Q3'26 (1-9月)	増減率
■ FX・外為OP	19,486	18,164	▲6.8%
■ CFD・株BO	5,729	13,944	+143.4%
■ 株式等	778	253	▲67.5%
■ 金融収益	4,515	6,495	+43.8%
■ 暗号資産	5,512	3,082	▲44.1%
■ その他	2,390	2,568	+7.4%
合計	38,413	44,507	+15.9%

四半期業績推移 | 営業利益・営業利益率

(百万円)

■ 営業利益 ● 営業利益率 ■ 営業収益



店頭FXの収益性改善に伴い
営業収益・営業利益は大きく増加

営業利益

前Q比

+47.0%

前年同Q比

+46.0%

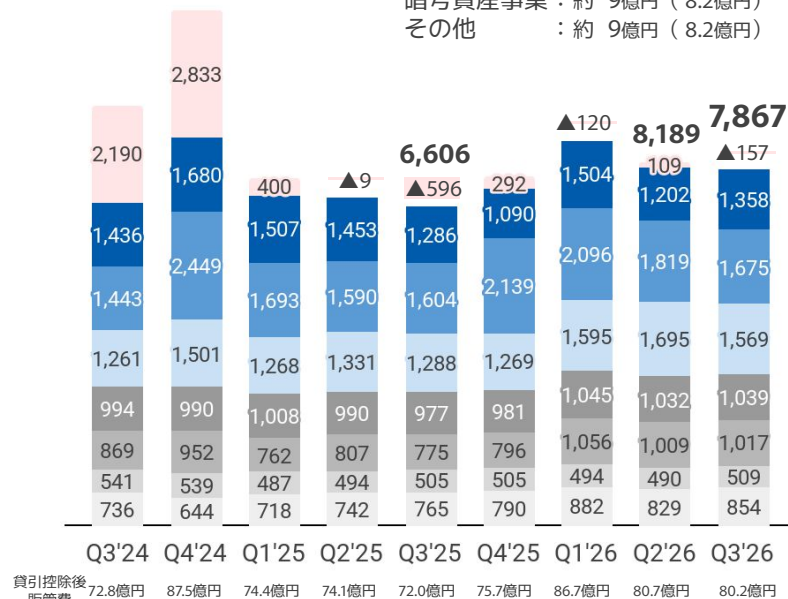
四半期業績推移 | 販売費及び一般管理費

(百万円)

Q4'26見通し (Q3'26実績)

約85億円 (78.6億円)

証券・FX事業：約67億円 (62.0億円)
暗号資産事業：約9億円 (8.2億円)
その他：約9億円 (8.2億円)



※ 見通しには貸倒引当金繰入額を含んでおりません。

販管費は概ね想定どおりに推移

	Q3'25 (1-9月)	Q3'26 (1-9月)	増減率
貸倒引当金繰入額	▲206	▲168	—
取引関係費 (除、広告費)	4,247	4,065	▲4.3%
広告宣伝費	4,888	5,591	+14.4%
人件費	3,888	4,860	+25.0%
不動産関係費	2,977	3,117	+4.7%
事務費	2,345	3,083	+31.5%
減価償却費	1,487	1,494	+0.5%
その他	2,226	2,566	+15.3%
合計	21,855	24,612	+12.6%

アジェンダ

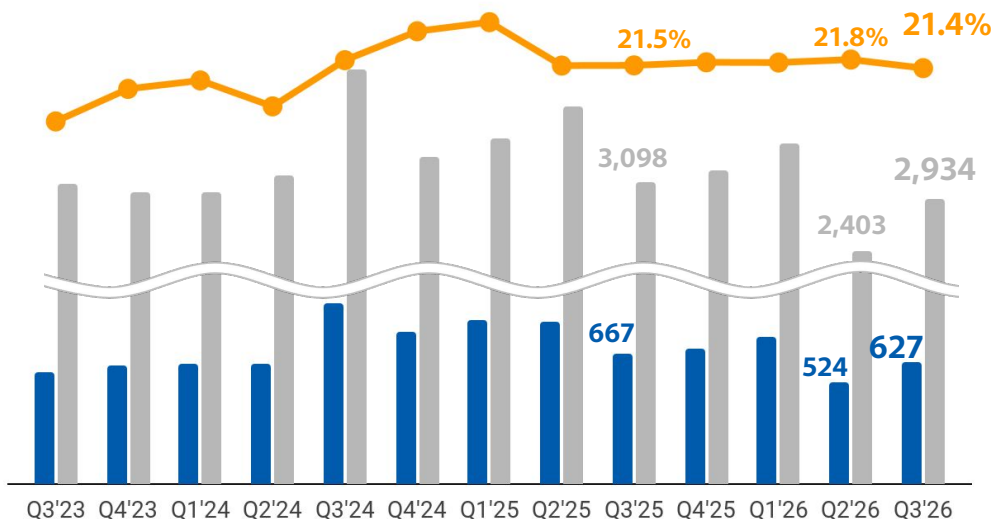
- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 Appendix

証券・FX事業 | 店頭FX国内取引高シェアの推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン

(兆円)

■取引高 ●国内取引高シェア ■業界全体取引高



Q3'26取引高シェア

21.4%

取引高シェアは安定して推移

<取引活性化に向けた取り組み>

- GMOクリック証券：スプレッド縮小（5通貨ペア）
- GMO外貨：スプレッド縮小（小口取引12通貨ペア）
- GMOコイン：スワップポイント強化（2通貨ペア）

金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

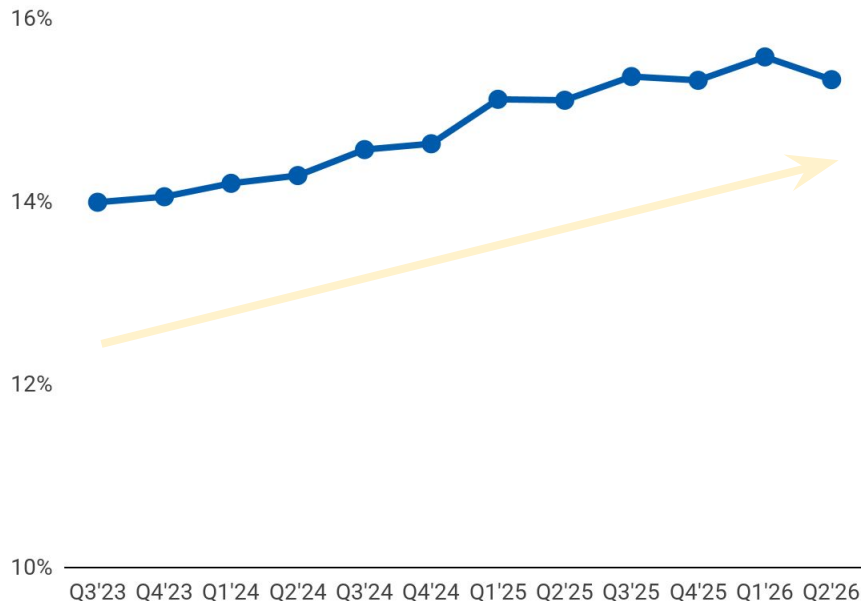
※取引高は、GMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで表示しています。GMOコインの数値は、2023年8月まではFXプライムbyGMO（同年9月にGMOコインと合併）の数値です。

※国内取引高シェアは、金融先物取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。

※業界全体取引高は、当社数値及び取引高シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

証券・FX事業 | 店頭FX取引人数（QAU）シェアの推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン



Q2'26 QAUシェア

15%超

微減も15%超を維持

<顧客基盤の拡大に向けた取り組み>

GMOクリック証券：共通ID「1アカウント」を通じた新規FX口座開設・取引キャンペーンを実施

金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成

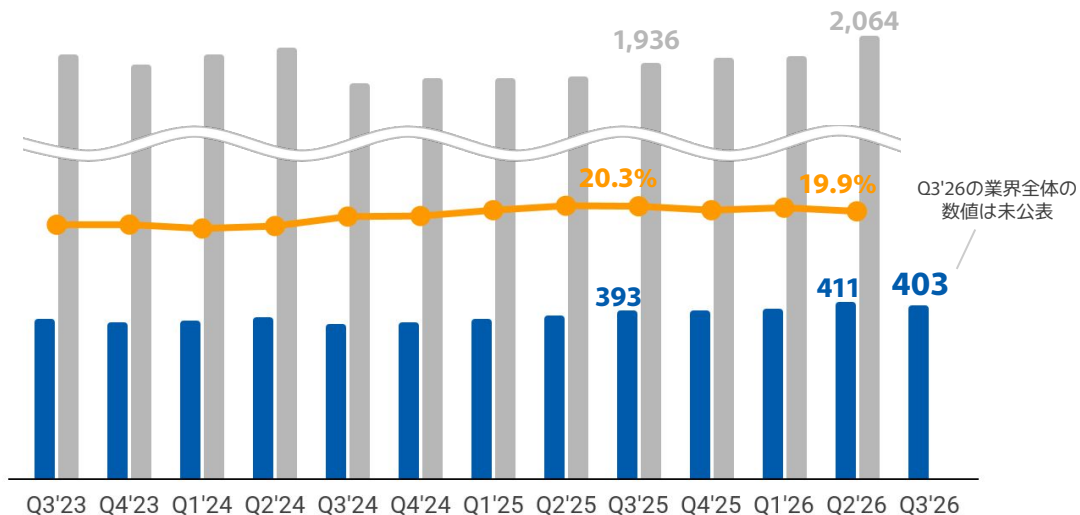
※QAUシェア（四半期でのユニーク取引人数のシェア）は、金融先物取引業協会公表数値を市場全体としてGMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで算出しています。

証券・FX事業 | 店頭FX預り証拠金残高の推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン

(10億円)

■ 預り証拠金残高 ● 預り証拠金残高シェア ■ 業界全体預り証拠金残高



金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成（直近四半期（2026年7月-9月）は未公表）
※預り証拠金残高は、GMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで表示しています。
2023年8月まではFXプライムbyGMO（同年9月にGMOコインと合併）の数値です。
※預り証拠金残高シェアは、金融先物取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。
※業界全体預り証拠金残高は、当社数値及び預り証拠金残高シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

前年同Q末比

+2.6%

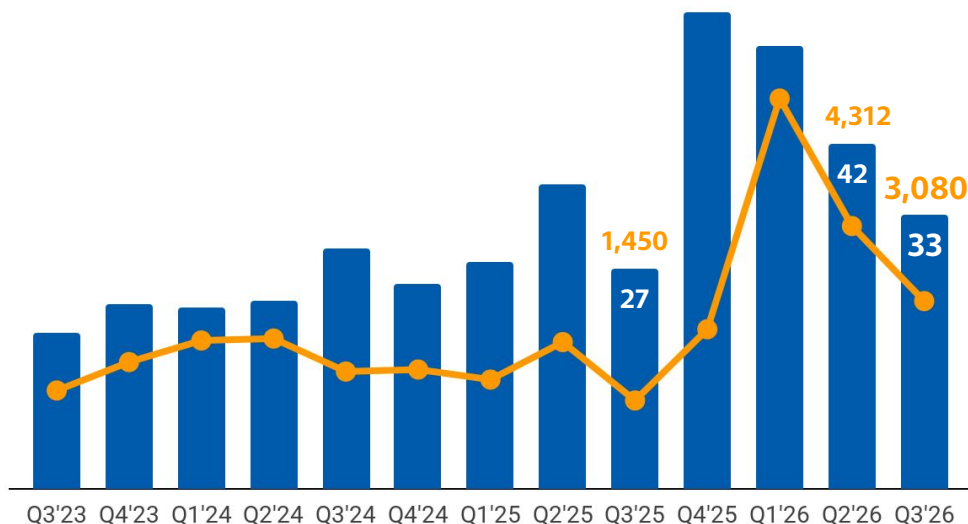
GMOクリック証券：+42.5億円
GMO外貨：+67.0億円
GMOコイン：▲5.5億円

前Q末比では、為替介入に伴う
相場急変等を受けて減少

証券・FX事業 | CFD売買代金・収益の推移

GMOクリック証券 GMO外貨

■ 売買代金（兆円） ● 収益（百万円）



※収益は、当社連結損益計算書に基づくCFD収益です。

前年同Q比

売買代金

+24.8%

収益

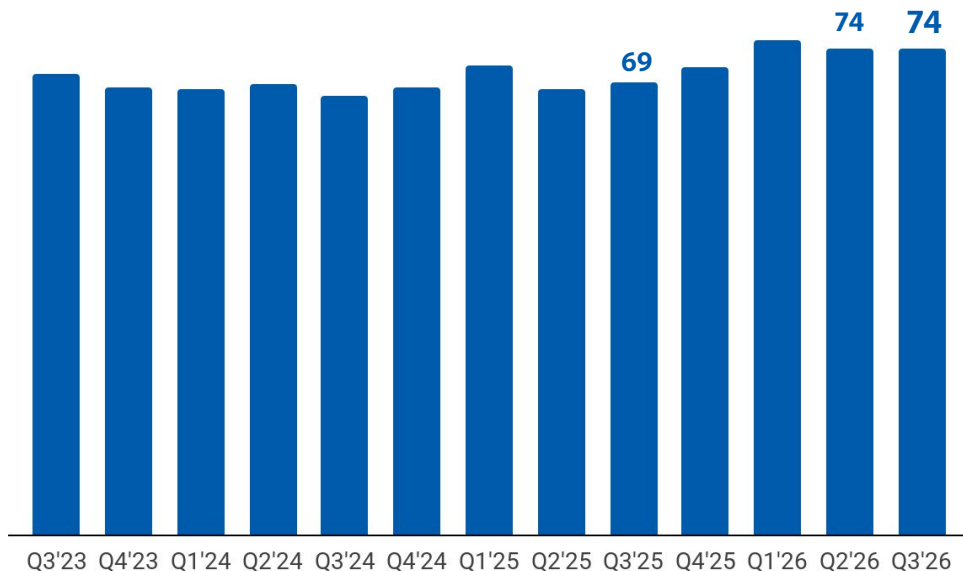
+112.4%

前年同Q比で2倍以上の収益を確保も、
前Q比では売買代金の減少と
セールスミックスの変化により減収

証券・FX事業 | CFD預り証拠金残高の推移

GMOクリック証券 GMO外貨

(10億円)



前年同Q末比

+7.4%

横ばいも、高水準を維持

<利便性向上に向けた取り組み>

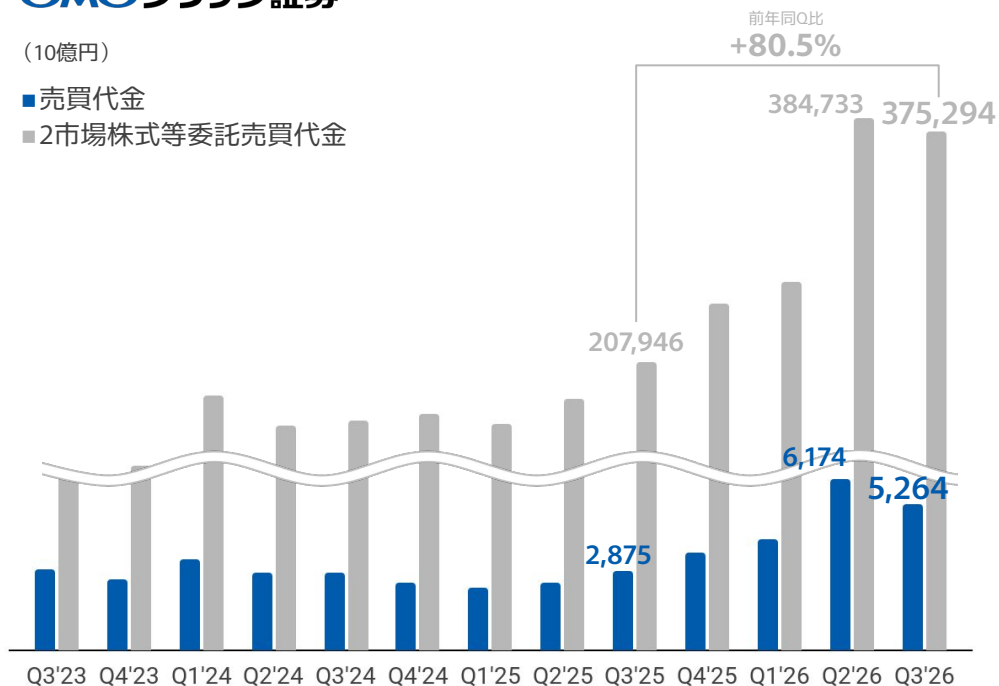
GMO外貨：商品CFDに円建ての
貴金属3銘柄を追加（2026年8月～）
「金/JPY」「銀/JPY」「プラチナ/JPY」

証券・FX事業 | 株式売買代金の推移

GMOクリック証券

(10億円)

■ 売買代金
■ 2市場株式等委託売買代金



日本取引所グループ公表資料より当社作成

※2市場株式等委託売買代金は、当社数値との同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/20スケールで表示しています。

※売買代金シェアは、日本取引所グループ公表数値を市場全体として算出しています。

前年同Q比

+83.1%

前年同Q比は、市場を上回る伸びを記録
前Q比では、市場が微減にとどまる中
信用取引を中心に減少しシェアが低下

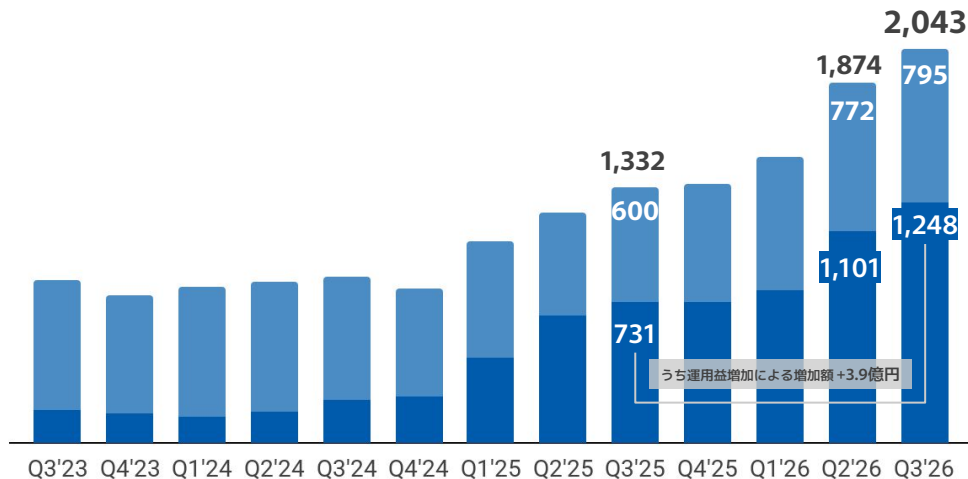
Q3'26売買代金シェア：1.4%
(Q2'26：1.6%)

証券・FX事業 | 金融収益の推移

GMOクリック証券

(百万円)

■ その他（分別金運用益含む） ■ 信用取引収益



前年同Q比

+53.4%

金利上昇を受けて
顧客分別金信託の運用益が増加
金融収益は過去最高を更新

証券・FX事業 | タイ証券における債権残高の状況

- 2026年9月末時点の約定弁済契約に基づく債権残高は約68億円。下期に予定していた大口債権の回収遅延や訴訟発生等により、2025年2月公表の回収計画（2026年中に債権元本約110億円の9割以上を回収）の達成が困難な状況
- 一方、担保による債権保全が図られており、直ちに貸倒引当金繰入額の計上が必要となる状況にはない
- 今後は、市場動向を踏まえた担保株式売却や抵当権の実行等による確実な回収を基本としつつ、期末時点の債権及び回収の状況を踏まえ柔軟に判断

■ 2026年9月末時点

債権残高※ **6,840** 百万円

保全率 **214.7** %

貸倒引当金 **680** 百万円

最大リスク額 **6,160** 百万円

担保の内訳

株式 10,431 百万円

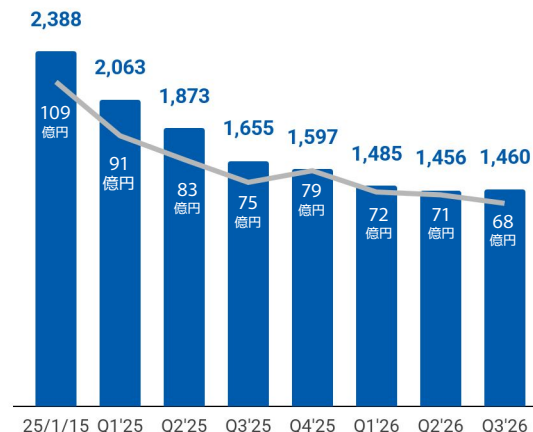
不動産 4,084 百万円

社債 168 百万円

合計 **14,685** 百万円

※約定弁済契約債権の一部には、破産更生債権等及び貸倒懸念債権に区分される債権が含まれています。

■ 約定弁済契約に基づく債権残高 (百万THB)

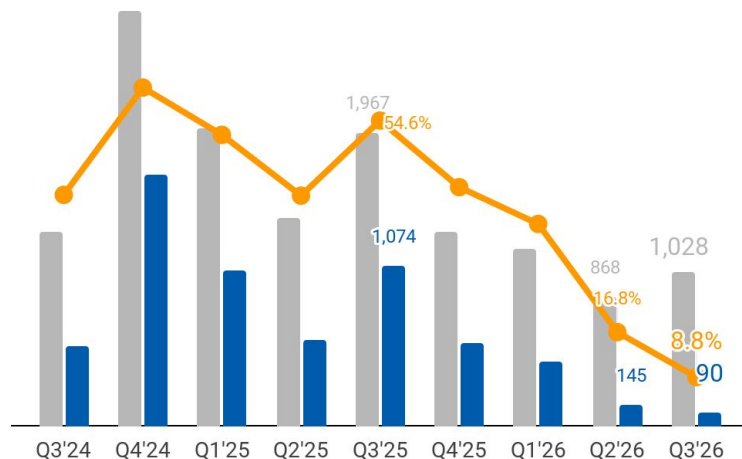


暗号資産事業 | 業績推移

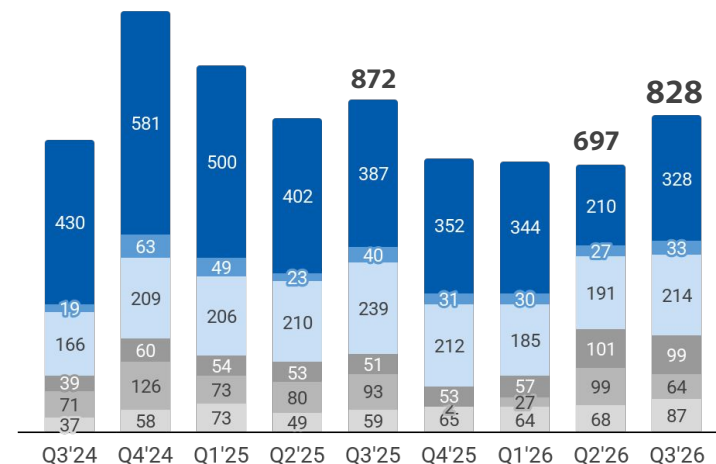
市場環境は改善傾向となり、前Q比で売買代金が増加し増収となった一方、外部借入への切り替えに伴う一時的な資金調達関連費用の増加もあり減益

(百万円)

■ 営業収益 ■ 営業利益 ● 営業利益率



■ 取引関係費 (除, 広宣費) ■ 広告宣伝費 ■ 人件費
■ 不動産関係費 ■ 事務費 ■ その他



※2025年12月期第4四半期において、ステーキング運用手数料のうち顧客負担分について、当社費用から当社立替金へ処理方法を変更いたしました。本変更は営業収益と費用に係るものであり、営業利益への影響はありません。

本変更は2025年12月期第4四半期に一括して反映しましたが、比較の有用性を高める観点から、本ページのグラフに限り、当該影響額を各四半期の発生ベースで表示しております。

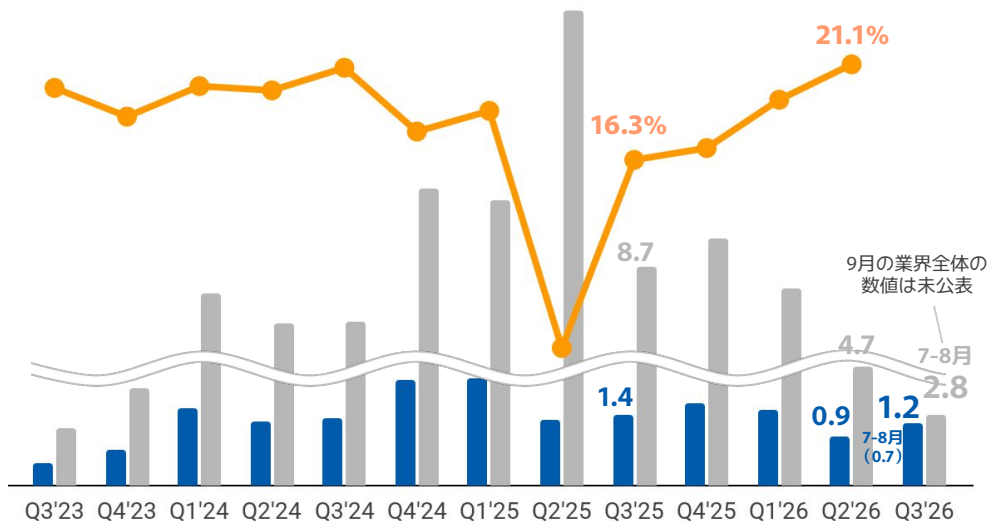
※GMOコイン株式会社において2026年6月に暗号資産セグメント・FXセグメント間の費用按分方法を見直したことに伴い、Q2'26にはQ1'26に対応する費用の一部が含まれております。

暗号資産事業 | 売買代金の推移

GMOコイン

(兆円)

■ GMOコイン売買代金 ■ 業界全体売買代金 ● 売買代金シェア



日本暗号資産等取引業協会「統計情報」より当社作成

※GMOコイン売買代金は、日本暗号資産等取引業協会への月次報告数値を集計しています。

※売買代金シェアは、日本暗号資産等取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。

※業界全体売買代金は、当社数値及び売買代金シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

前年同Q比

▲12.2%

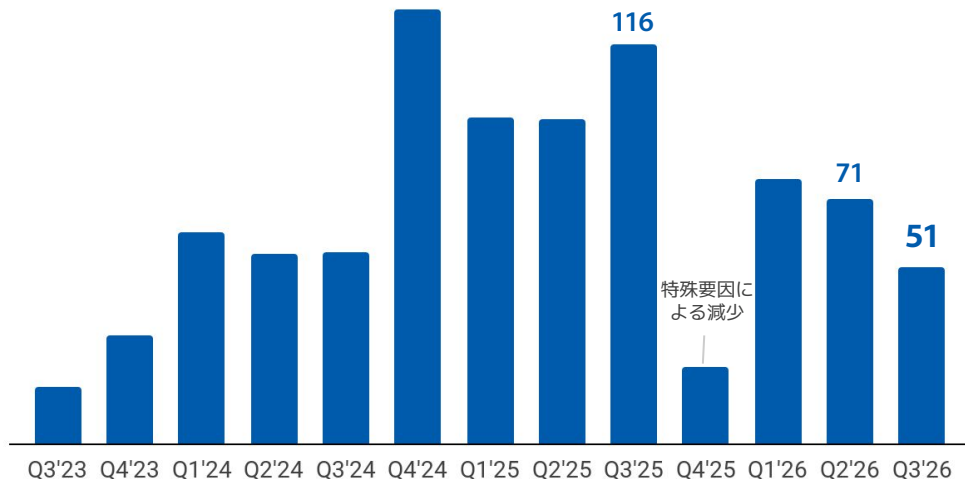
前年同Q比は減少も前Q比では回復
売買代金シェアは上昇傾向
(7-8月 27.5%)

<利便性向上に向けた施策>
保有中の暗号資産を証拠金として活用できる
「代用暗号資産」サービス提供開始

暗号資産事業 | ステージング収益の推移

GMOコイン

(百万円)



前年同Q比

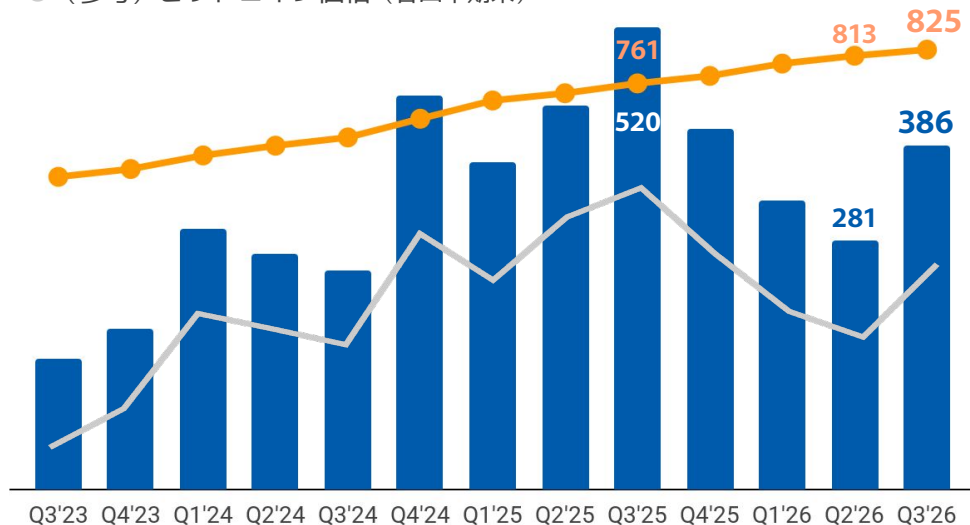
▲55.8%

競合とのレート競争や
報酬（利回り）の低下に加え、
利用促進キャンペーンに伴う
手数料還元の影響で減少傾向

暗号資産事業 | 口座数と顧客預り資産の推移

GMOコイン

■顧客預り資産（10億円） ●口座数（千口座）
●（参考）ビットコイン価格（各四半期末）



※ビットコイン価格（各四半期末）は、GMOコイン販売所におけるMIDレートの終値に基づき作成しています。

前年同Q末比

口座数

+6.3万口座

預り資産

▲25.7%

顧客基盤は順調に拡大
ビットコインを中心とする
暗号資産価格の復調で
預り資産は前Q末比で大きく増加

その他 | 少額短期保険

The advertisement features a blue background with a pattern of stylized human faces. At the top, a white rounded rectangle contains the text '新商品販売開始'. Below this, the text '安心の GMO INTERNET GROUP' is displayed. The main title '死亡保険' is in large white characters. To the left of the price, there are two yellow boxes: the top one says '男性 40代' and the bottom one says '保険金 100万円'. The price '月額 220円〜' is prominently displayed in large yellow characters. At the bottom, the text 'GMO 少額短期保険株式会社' is shown in white.

新商品販売開始

安心の GMO INTERNET GROUP

死亡保険

男性 40代
保険金 100万円

月額 220円〜

GMO 少額短期保険株式会社

2026年10月13日

新商品の販売開始 「死亡保険」

グループジョイン後初のオリジナル商品
死亡保障に絞ったシンプルな商品設計で、
「1アカウント」からオンライン申込み可能
引き続き、新商品の開発を推進

アジェンダ

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 **Appendix**

ビジョン・成長戦略 | 持続的成長に向けて

テクノロジー活用余地が大きく成長性の高い分野に積極的に投資
「No.1プラットフォーム」を創出し、持続的成長を目指す

事業ポートフォリオの多角化

GMOクリック証券
GMO外貨 GMOコイン

主力事業の収益最大化

シナジー発揮と経営効率を追求
圧倒的な顧客基盤を構築し
成長原資を創出



GMOオフィスサポート

ヘルステックONE ① アカウント
by GMO

新規事業への投資

「安さ」と「利便性」を追求
成長性の高い分野での
新たな価値創造と成長を図る

Q3'26（7-9月） | 決算サマリー（前四半期比）

(百万円)	Q2'26	Q3'26	Q/Q	
	(4-6月)	(7-9月)	増減額	増減率
営業収益	13,309	14,963	+1,654	+12.4%
純営業収益	12,078	13,581	+1,503	+12.4%
営業利益	3,888	5,714	+1,826	+47.0%
（営業利益率）	29.2%	38.2%	—	+9.0pt
経常利益	3,825	5,729	+1,903	+49.7%
最終利益	2,318	4,006	+1,688	+72.8%

Q3'26（7-9月） | セグメント別の状況（前四半期比）

（ ）内は前四半期比

（百万円）

証券・FX事業

	Q2'26（4-6月）	Q3'26（7-9月）	
営業収益	11,729	13,208	(+12.6%)
営業利益	4,028	5,957	(+47.9%)
（営業利益率）	34.3%	45.1%	(+10.8pt)

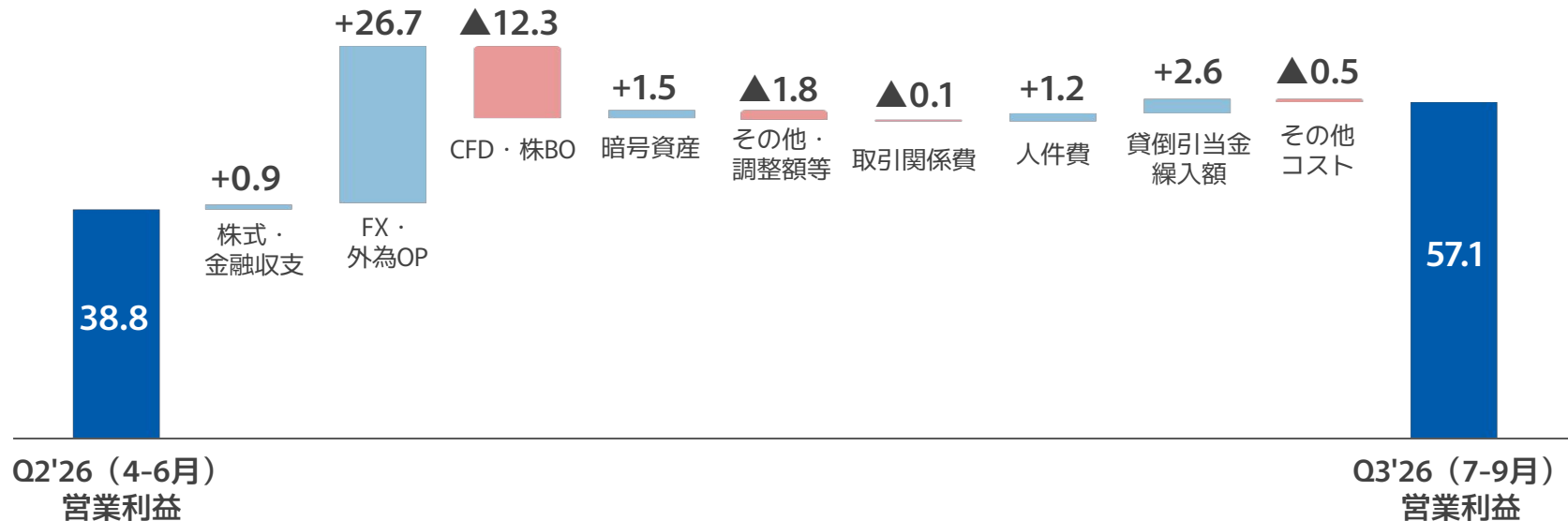
暗号資産事業

営業収益	868	1,028	(+18.4%)
営業利益	145	90	(▲38.2%)
（営業利益率）	16.8%	8.8%	(▲8.0pt)

Q3'26（7-9月） | 営業利益増減（前四半期比）

CFD収益の反動減を店頭FXの復調が大きく上回り、増益で着地

（億円）



※表示単位未満を切り捨てています。

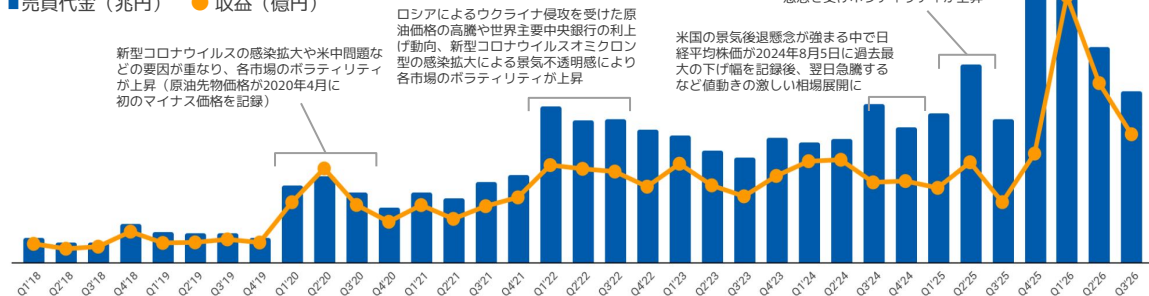
証券・FX事業 | CFDのあゆみ

- 2010年4月、GMOクリック証券は日本初となる自社開発取引システムでCFD取引サービスの提供を開始
- 銘柄拡充と取引ツールの高度化を継続的に推進するとともに、預り証拠金残高・取引人数を着実に拡大し、市場の活況局面において取引規模の拡大と収益成長を実現

GMOクリック証券

2018年12月期以降の売買代金と収益の推移

■ 売買代金 (兆円) ● 収益 (億円)



国内店頭CFD取引高シェア



12年連続 No.1

(2014年～2025年)

150銘柄以上
世界中の多様な
資産に投資可能

スマホ・PC
進化し続ける
使いやすいツール

少額取引可能
多様なニーズに
応える商品設計



立ち上げ期

サービス基盤の構築と銘柄整備

拡大期

ラインナップ強化とスマホ対応

進化・成長加速期

取引ツールの継続的な改善と商品力強化による成長加速

2010/4 : CFD取引サービス開始 (株価指数先物CFD)
2010/7 : 金・原油など商品先物CFDの取扱開始
2011/5 : アジア・欧州の主要株価指数銘柄を追加
2011/8 : CFD取引画面を大幅リニューアル
2011/11 : 「プラチナチャートCFD」の提供開始
2011/11 : 取扱銘柄を大幅リニューアル、決済期日のない銘柄へ順次切り替え

2014/12 : 外国株CFD取引の取扱開始
2015/4 : スマホアプリ「CFDroid」リリース
2015/6 : スマホアプリ「iClickCFD」リリース
2016/1 : 天然ガスなど2銘柄を追加
2016/3 : 海外ETF (上場投信) 銘柄の取扱開始
2016/8 : レバETF・ETN系など6銘柄など追加
2018/3 : リッチクライアント型取引ツール「はっちゅう君CFD」リリース

2020/12 :
旧スマホアプリを統合し、機能・UI/UXを全面的に再設計した「GMOクリック CFD」をリリース。以降、チャートやテクニカル指標など、継続的な機能強化を実施
2021/9 : 株式系など7銘柄を追加
2022/4 : 半導体関連などの9銘柄を追加
2023/9 : 最小取引数量を引き下げ少額取引に対応

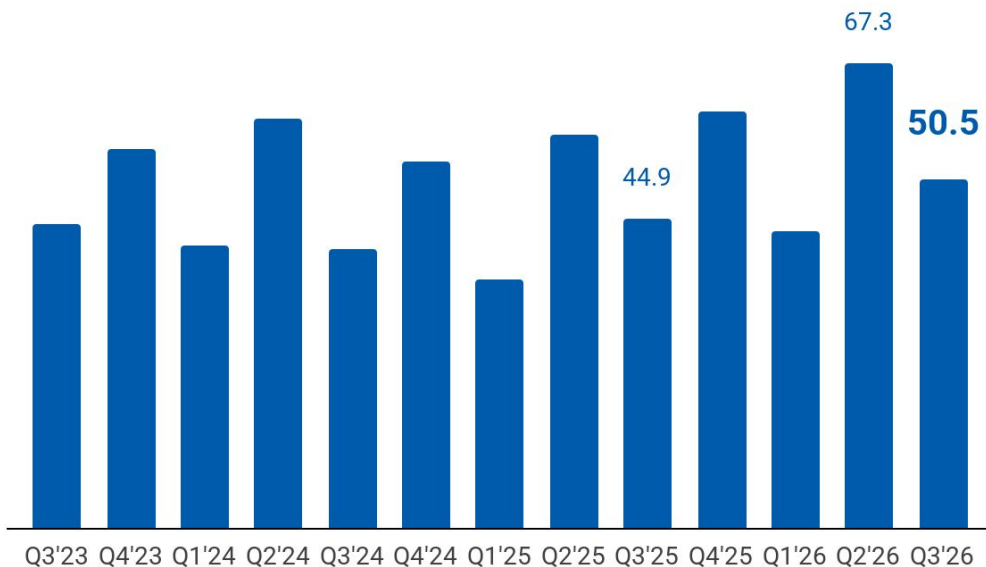
2023/10 : 小麦など農作物系商品CFD5銘柄を追加
2023/11 : ガソリンなど商品系3銘柄を追加
2023/12 : 指数系など12銘柄を追加
2024/6 : 「GMOクリック CFD」Apple Watchに対応
2024/9 : 米国株など10銘柄追加、NYダウ全銘柄網羅
2026/4 : プラチナスポットの取扱再開
2026/6 : 商品CFDに円建ての貴金属3銘柄を追加

※国内店頭CFD取引高シェアは、日本証券業協会及び日本商品先物取引協会の統計情報より算出しています (2014年1月～2025年12月)。集計対象は、店頭証券CFDは個別株・株価指数・債券・その他有価証券、店頭商品CFDはエネルギー・貴金属・農産物です。

証券・FX事業 | 貸株残高の推移

(10億円)

GMOクリック証券



安定的に推移

足元（10/23）は740億円

証券・FX事業 | タイ証券における債権残高の状況

- 2026年9月末時点の約定弁済契約に基づく債権残高は約68億円。下期に予定していた大口債権の回収遅延や訴訟発生等により、2025年2月公表の回収計画（2026年中に債権元本約110億円の9割以上を回収）の達成が困難な状況
- 一方、担保による債権保全が図られており、直ちに貸倒引当金繰入額の計上が必要となる状況にはない
- 今後は、市場動向を踏まえた担保株式売却や抵当権の実行等による確実な回収を基本としつつ、期末時点の債権及び回収の状況を踏まえ柔軟に判断

■ 全債権・担保の状況

（単位：百万円）

項目		約定弁済契約債権※	その他不良債権
残高		6,840	17,614
担保の状況	株式	10,431	—
	不動産	4,084	—
	社債	168	—
	合計	14,685	—
保全率		214.7%	—
貸倒引当金		680	17,614
貸倒引当金の計上方法		延滞の有無に関わらず、債務者ごとに貸付残高から担保評価額を控除した金額を計上	
担保の評価方法		・ 株式：期末株価に担保株式数を乗じたもの ・ 不動産：SEC登録の不動産鑑定士による鑑定評価に一定の掛け目を乗じたもの ・ その他：額面	
最大リスク額（約定弁済契約残高-約定弁済契約の貸倒引当金＋その他不良債権の担保額）		6,160	

※ 約定弁済契約債権の一部には、破産更生債権等及び貸倒懸念債権に区分される債権が含まれています。

■ 約定弁済契約債権の保全率ごとの残高

（単位：百万円）

保全率	残高	貸倒引当金
0～100%	1,275	669
100%～150%	718	11
150%～200%	223	—
200%～	4,623	—
合計	6,840	680

※ 円表記の各数値：2026年9月30日時点のレートで円換算

< 参考情報 >

過去2事業年度に実施した担保株式の強制処分時における株価の下落率
・ 最大値 ▲79.3% ・ 平均値 ▲47.0% ・ 最小値 ▲11.4%

暗号資産事業 | 規制環境の変化

- 2026年7月に金融商品取引法等改正法が成立・公布され、暗号資産に関する利用者保護と市場の信頼性向上に向けた制度整備が本格化
- 制度改正の動向を注視・適切に対応し、健全で開かれた暗号資産関連市場の発展に貢献

7月15日 成立 7月23日 公布

- 2026年7月15日に「金融商品取引法及び資金決済に関する法律の一部を改正する法律」が成立し、同月23日に公布

2026年後半～ 制度の具体化

- 暗号資産不正流出時における補償原資として、責任準備金の積立てを義務化
- 実務への影響が大きい具体的な積立率については、管理する暗号資産の残高やセキュリティ水準を踏まえ、内閣府令で定められる予定

公布後1年以内 改正法施行（予定）

- 暗号資産交換業の規制根拠が資金決済法から金融商品取引法へ移行
- 利用者保護の強化と市場の透明性・信頼性の向上

2028年以降 税制改正（見込み）

- 特定暗号資産を対象に、現行の総合課税（最大55%）から一律20%の申告分離課税へ移行する見通し
- 税制面の環境整備により、暗号資産取引の活性化に一定の期待

※施行時期、対象範囲その他制度の詳細は、今後の法令・税制等の整備により変更される場合があります。

四半期推移 | PL

(単位：百万円)

	FY2025					FY2026					Q3累計 (1-9月)	
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	増減額	増減率
営業収益	12,977	13,916	11,519	11,104	49,518	16,234	13,309	14,963	-	-	6,094	15.9%
受入手数料	1,298	1,048	1,099	864	4,310	785	647	714	-	-	▲1,297	▲37.7%
トレーディング損益	9,610	10,634	8,022	7,792	36,059	12,730	9,632	11,051	-	-	5,148	18.2%
金融収益	1,366	1,555	1,705	1,682	6,309	1,920	2,307	2,459	-	-	2,060	44.5%
その他の営業収益	35	38	27	10	111	10	10	10	-	-	▲70	▲69.9%
その他の売上高	667	640	664	754	2,726	788	710	726	-	-	253	12.8%
金融費用	708	725	794	816	3,045	965	1,016	1,153	-	-	906	40.7%
売上原価	200	233	204	246	884	252	214	228	-	-	56	8.8%
純営業収益	12,067	12,958	10,520	10,041	45,587	15,017	12,078	13,581	-	-	5,131	14.4%
販売費及び一般管理費	7,846	7,402	6,606	7,865	29,721	8,555	8,189	7,867	-	-	2,756	12.6%
営業利益	4,221	5,555	3,914	2,175	15,866	6,462	3,888	5,714	-	-	2,374	17.3%
営業外収益	79	148	▲60	47	214	292	31	158	-	-	315	188.3%
営業外費用	730	219	52	▲179	823	319	94	144	-	-	▲445	▲44.4%
経常利益	3,569	5,484	3,800	2,402	15,257	6,435	3,825	5,729	-	-	3,135	24.4%
特別利益	5	5	5	▲6	9	-	-	-	-	-	▲16	-
特別損失	0	41	134	79	255	79	203	125	-	-	232	132.0%
税金等調整前四半期純損益	3,575	5,448	3,672	2,316	15,012	6,356	3,622	5,603	-	-	2,886	22.7%
法人税等	1,087	1,827	1,025	820	4,760	2,263	1,349	1,630	-	-	1,302	33.1%
親会社株主に帰属する四半期純損益	2,504	3,707	2,698	1,537	10,448	4,205	2,318	4,006	-	-	1,620	18.2%

四半期推移 | セグメント別/商品別の業績

(単位：百万円)

	FY2025					FY2026					Q3累計 (1-9月)	
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	増減額	増減率
証券・FX事業												
営業収益	10,285	11,833	8,810	9,196	40,125	14,261	11,729	13,208	-	-	8,271	26.7%
株式・ETF等*	273	277	228	70	849	79	82	91	-	-	▲525	▲67.5%
取引所FX・取引所CFD	114	96	82	134	428	133	97	96	-	-	33	11.5%
通貨関連店頭デリバティブ	6,703	7,488	5,294	4,609	24,096	5,701	4,896	7,566	-	-	▲1,321	▲6.8%
CFD・株BO	1,818	2,432	1,478	2,675	8,405	6,452	4,363	3,129	-	-	8,214	143.4%
金融収益	1,343	1,513	1,658	1,633	6,149	1,870	2,244	2,379	-	-	1,979	43.8%
その他	31	25	67	71	196	24	45	▲55	-	-	▲109	▲88.1%
営業利益	3,246	5,167	3,122	1,884	13,420	6,388	4,028	5,957	-	-	4,838	41.9%
暗号資産事業												
営業収益	2,024	1,443	2,044	1,153	6,666	1,185	868	1,028	-	-	▲2,430	▲44.1%
営業利益	1,040	576	1,074	555	3,246	428	145	90	-	-	▲2,026	▲75.3%
その他												
営業収益	670	639	664	754	2,729	788	710	726	-	-	250	12.7%
営業利益	▲64	▲188	▲283	▲264	▲800	▲354	▲285	▲332	-	-	▲436	-

※株式・ETF等は、株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料を含みます。

四半期推移 | 販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	FY2025					FY2026					Q3累計（1-9月）	
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	増減額	増減率
取引関係費	3,200	3,044	2,890	3,229	12,365	3,601	3,021	3,033	-	-	521	5.7%
（内、広告宣伝費）	1,693	1,590	1,604	2,139	7,028	2,096	1,819	1,675	-	-	703	14.4%
人件費	1,268	1,331	1,288	1,269	5,157	1,595	1,695	1,569	-	-	972	25.0%
不動産関係費	1,008	990	977	981	3,958	1,045	1,032	1,039	-	-	140	4.7%
事務費	762	807	775	796	3,142	1,056	1,009	1,017	-	-	737	31.5%
減価償却費	487	494	505	505	1,993	494	490	509	-	-	6	0.5%
租税公課	367	394	423	440	1,626	523	477	483	-	-	298	25.2%
貸倒引当金繰入額	400	▲9	▲596	292	86	▲120	109	▲157	-	-	37	-
のれん償却額	268	267	268	268	1,072	273	273	273	-	-	16	2.0%
その他	83	79	73	81	318	85	78	98	-	-	25	10.7%
販売費及び一般管理費	7,846	7,402	6,606	7,865	29,721	8,555	8,189	7,867	-	-	2,756	12.6%

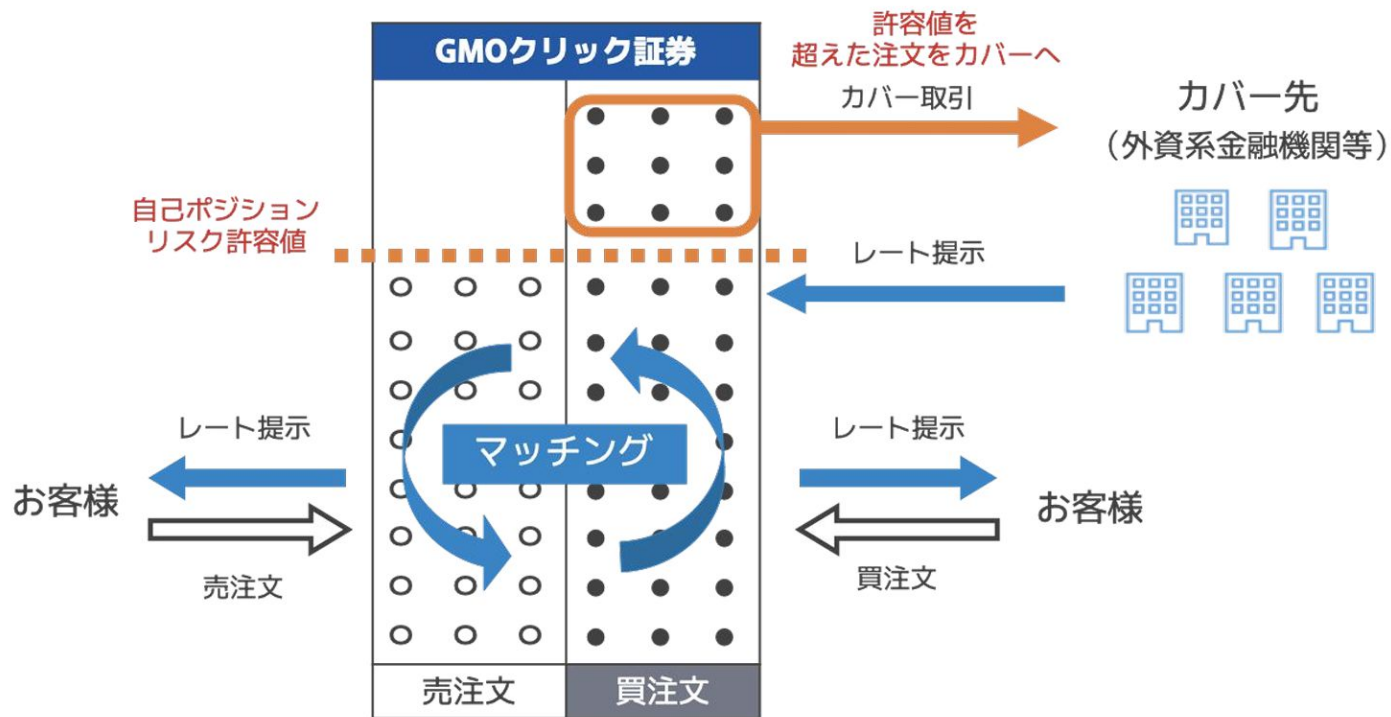
四半期推移 | 主要KPI

			FY2025				FY2026			
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
GMOクリック証券										
株式	売買代金	(百万円)	2,273,384	2,432,020	2,875,901	3,539,526	4,044,878	6,174,020	5,264,914	-
	約定件数	(件)	2,140,688	2,267,087	2,383,117	2,612,778	3,098,222	3,142,492	3,050,795	-
	信用取引残高	(百万円)	111,825	100,375	104,403	107,495	122,081	141,246	139,945	-
	口座数	(口座)	539,767	544,173	549,370	556,001	565,573	573,560	580,227	-
店頭FX	売買代金	(億円)	6,836,465	6,783,566	5,422,804	5,556,406	6,124,189	4,128,001	5,040,912	-
	取引数量	(百万通貨)	4,767,344	4,931,610	3,798,812	3,766,579	4,164,255	2,769,143	4,373,181	-
	預り証拠金残高	(百万円)	255,248	260,573	269,111	268,880	269,288	277,731	273,363	-
	口座数	(口座)	850,319	856,646	862,968	870,198	879,334	887,463	894,553	-
CFD	売買代金	(億円)	268,702	357,374	258,978	543,589	476,038	388,740	308,836	-
	預り証拠金残高	(百万円)	70,016	66,332	67,234	69,183	72,996	71,775	71,501	-
	口座数	(口座)	214,413	218,229	222,172	227,393	234,799	240,387	245,030	-
全商品	預り資産	(百万円)	1,322,817	1,365,045	1,204,131	1,217,022	1,255,462	1,283,624	1,326,004	-
GMO外貨										
店頭FX	売買代金	(億円)	1,575,046	1,525,944	1,218,158	1,370,381	1,447,949	1,044,849	1,181,542	-
	取引数量	(百万通貨)	1,192,420	1,195,777	927,856	1,027,467	1,101,366	776,043	889,784	-
	預り証拠金残高	(百万円)	106,499	108,670	113,010	112,592	117,517	122,950	119,712	-
	口座数	(口座)	479,828	483,237	485,622	487,494	489,583	491,425	492,574	-
CFD	売買代金	(億円)					69,721	35,204	28,077	-
	預り証拠金残高	(百万円)					2,638	2,800	2,822	-
	口座数	(口座)					13,413	14,150	14,790	-
GMOコイン										
暗号資産	売買代金	(百万円)	2,145,921	1,312,000	1,431,679	1,667,875	1,530,518	999,537	1,257,246	-
	内、取引所取引	(百万円)	1,941,539	1,202,619	1,326,575	1,550,949	1,451,621	947,042	1,142,380	-
	内、販売所取引	(百万円)	204,382	109,381	105,104	116,925	78,897	52,494	114,865	-
	預り資産	(百万円)	369,226	431,980	520,564	405,205	325,025	281,145	386,770	-
	口座数	(口座)	729,806	743,412	761,918	775,971	799,081	813,769	825,207	-

※GMOコイン売買代金は、日本暗号資産等取引業協会への月次報告数値を集計しています。

証券・FX事業 | 店頭FXのビジネスモデル

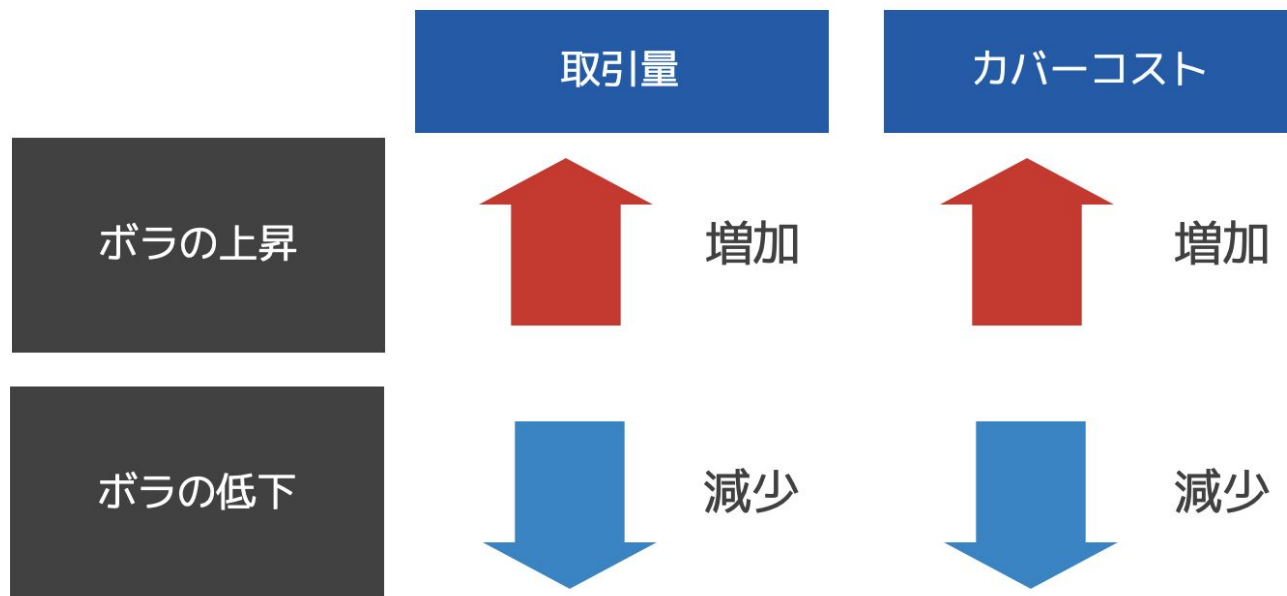
効率的なマッチングとポジションの保有リスクをヘッジする徹底した管理を追求



証券・FX事業 | 店頭FXにおけるボラティリティと収益の関係

収益
構造

$$\begin{array}{cc} \text{対顧客取引} & \text{カバー取引} \\ \text{(対顧客スプレッド} \times \text{取引数量)} - \text{(カバースプレッド} \times \text{カバー数量)} \end{array}$$

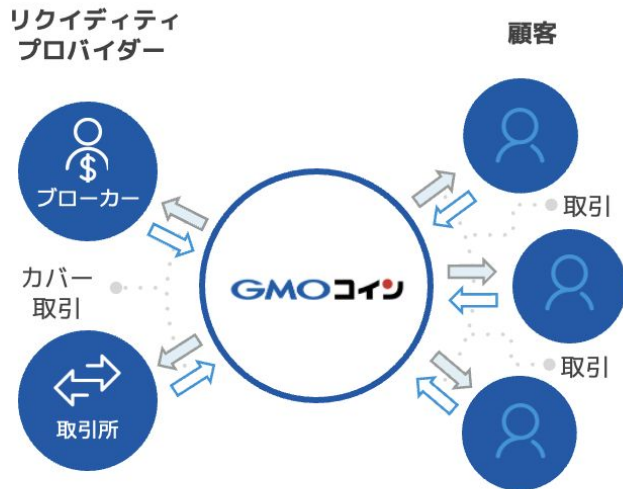


(上記は概念図)

暗号資産事業 | ビジネスモデル

販売所モデル

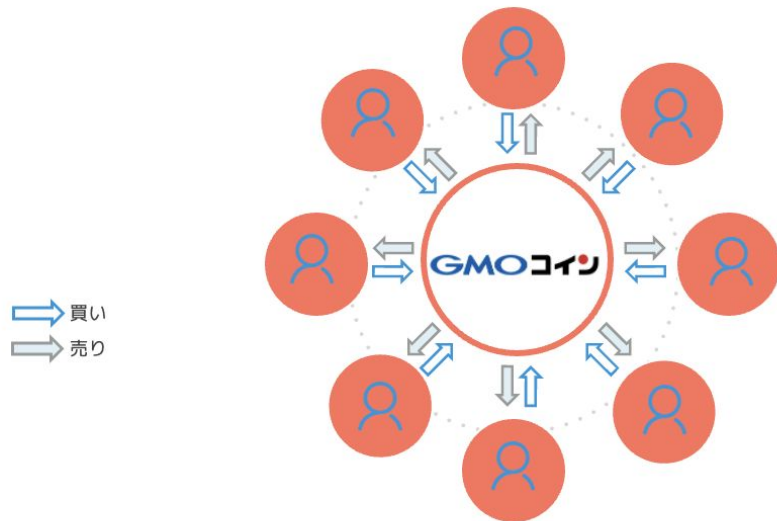
GMOCoinが顧客取引の相手方となる取引
保有ポジションはカバー取引でヘッジ



主な収入源：スプレッド（売値と買値の差）

取引所モデル

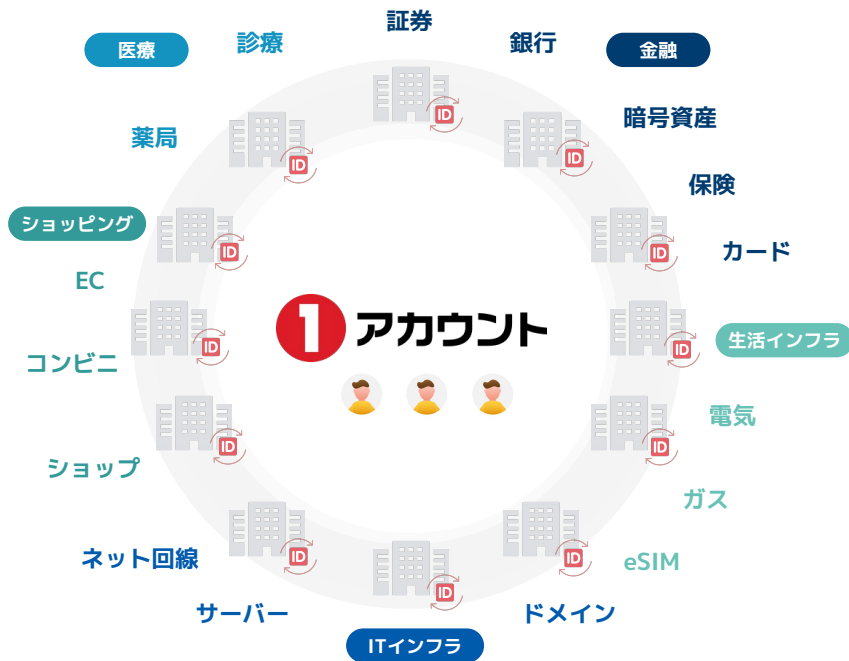
GMOCoinは取引をマッチングする場を提供
顧客の取引毎に手数料を受け取る



主な収入源：取引手数料

その他 | 共通ID「1アカウント」起点のエコシステム構築

「1アカウント」のIDが各社サービスのハブとなることで
効率的な顧客獲得と圧倒的に便利なユーザー体験の提供を目指す



あらゆる企業が参加し共創する
"オープンなエコシステム"
連携企業の事業成長を加速させる
No.1のID統合プラットフォーム へ

連携企業は段階的に拡大

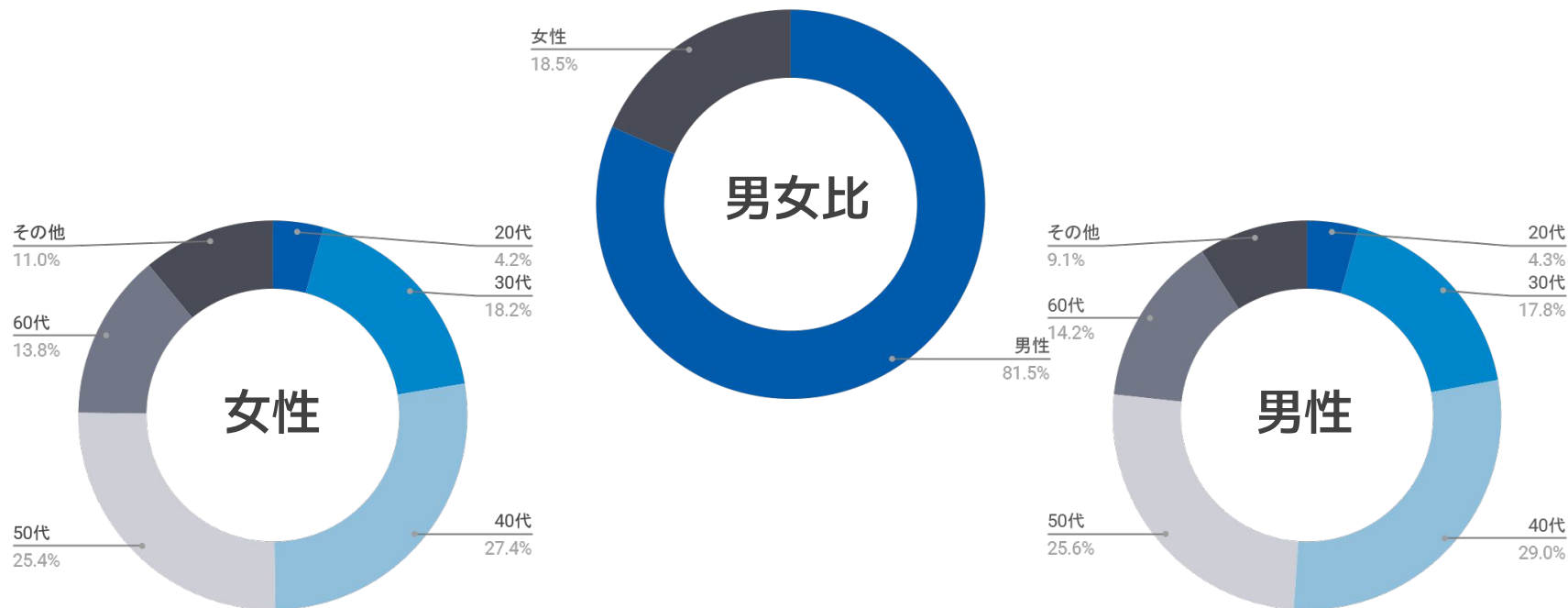
GMO INTERNET GROUP

外部企業



顧客属性 | GMOクリック証券 – 証券取引口座

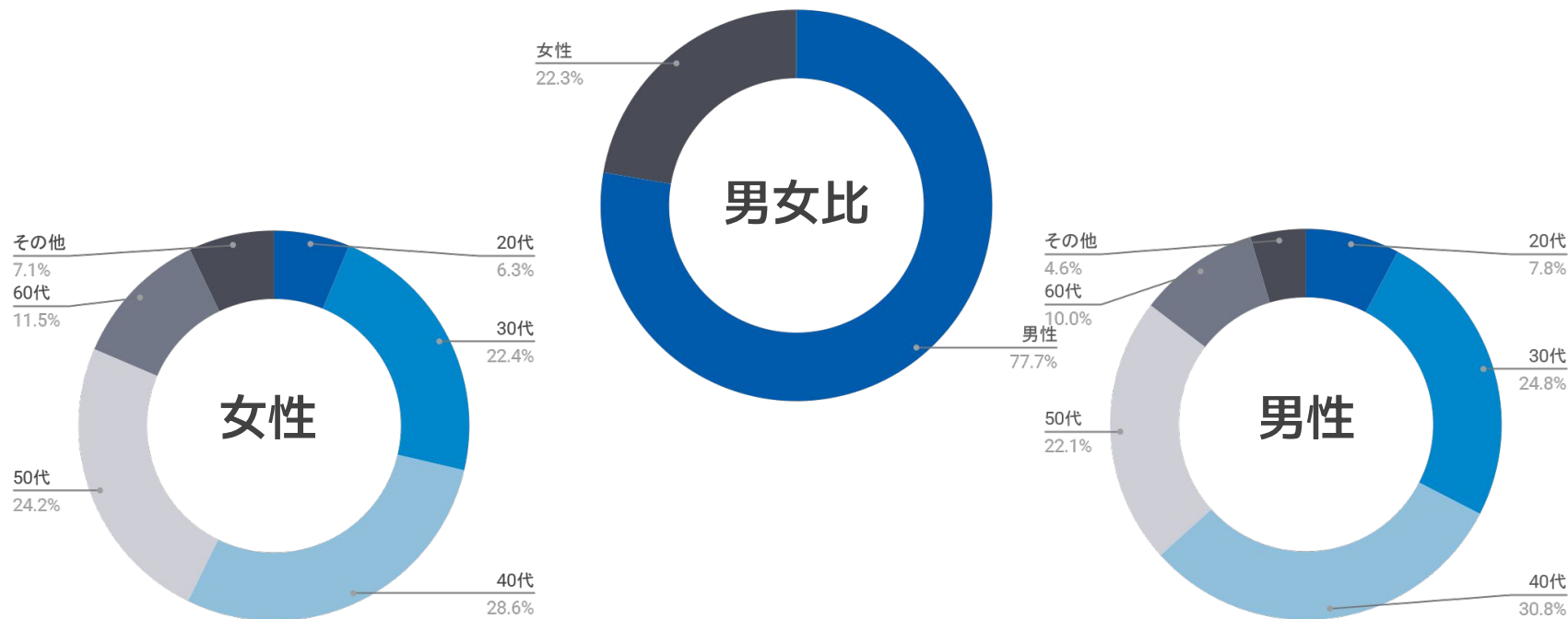
GMOクリック証券



2026年6月30日現在

顧客属性 | GMOクリック証券 – FX専用取引口座

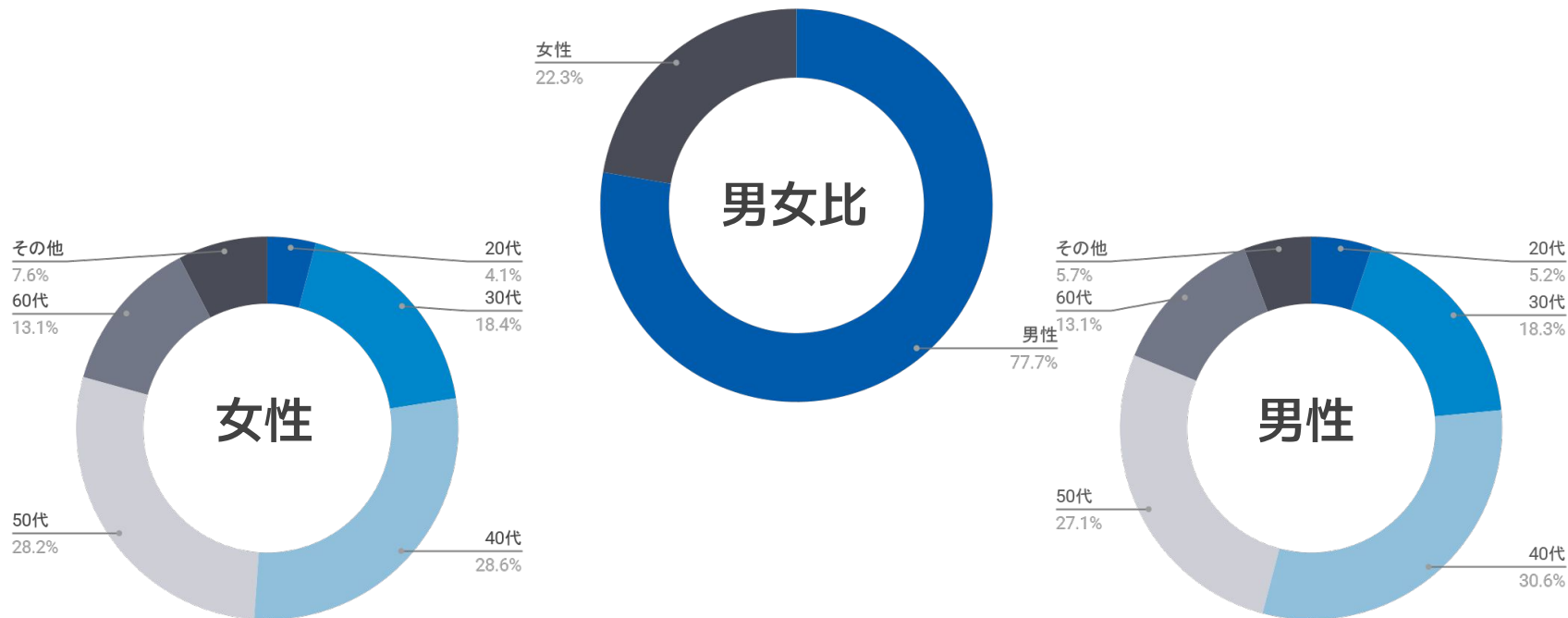
GMOクリック証券



2026年6月30日現在

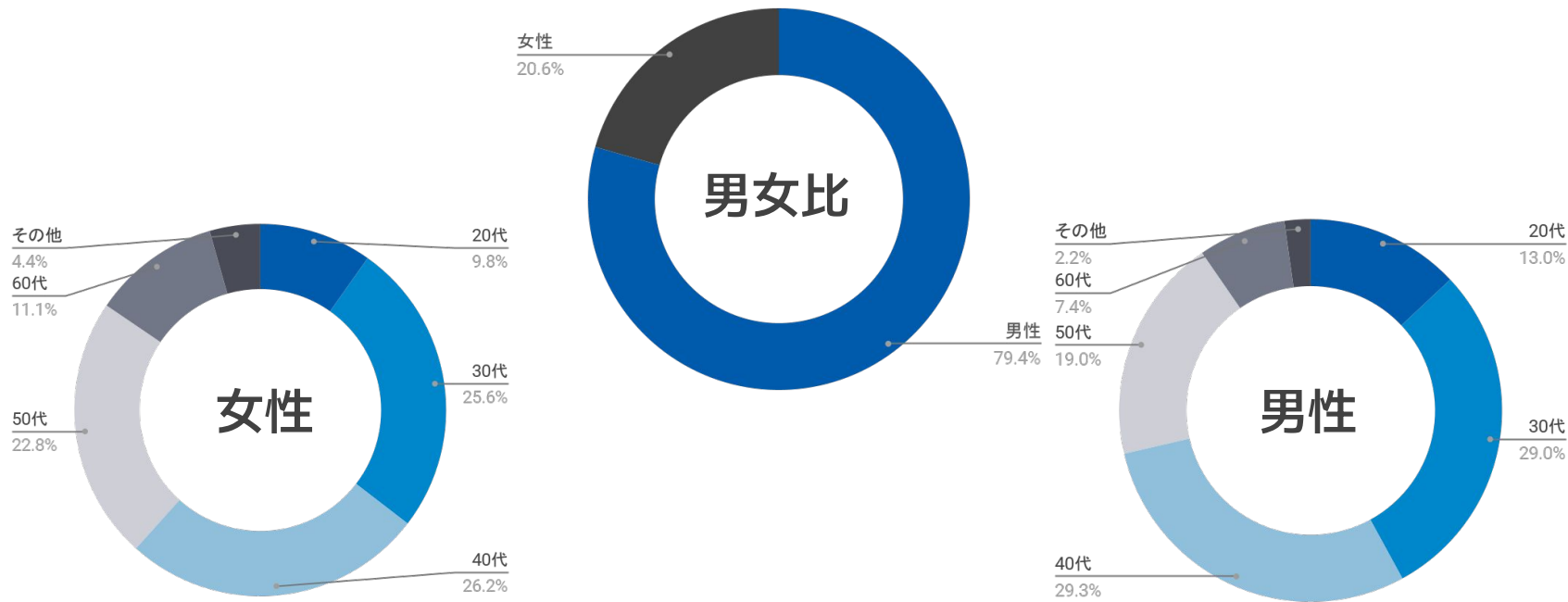
顧客属性 | GMO外貨

GMO外貨



2026年6月30日現在

顧客属性 | GMOコイン – 暗号資産口座



2026年6月30日現在

免責事項

本資料には、2026年10月30日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。これらは、世界経済、競合状況、為替変動等に関わるリスクや天変地異などの不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。また、マーケットシェアなどの数値には一部当社推計値が含まれており、調査機関により異なる場合があります。資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。